EPSON

EMP Monitor V4.22
操作ガイド

説明書中のマークの意味

この説明書の中で使用している記号と記号の意味は次のとおりです。

注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を記載しています。
ポイント	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
☛	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。ページ番号(青字)の部分をクリックすると、そのページが表示されます。
［（表記名）］	プロジェクターの接続端子名や、コンピュータのメニューや項目名を示しています。 例:［InputA］［スタート］
▶	次ページに説明が続いていることを示しています。クリックすると次のページが表示されます。
◀	前ページから説明が続いていることを示しています。クリックすると前のページが表示されます。

目次

説明書中のマークの意味 1

EMP Monitorでできること 4

動作環境 5

動作可能なコンピュータ 5
EMP Monitorのインストール 5
Windows Vista環境で使用する際の制限事項 6
操作を始める前に 6

監視するプロジェクターの登録と削除 7

EMP Monitorを起動する 7
自動検索を使った登録（同一のセグメント内にあるプロジェクターの検索・登録） 8
自動検索の手順 8
登録の手順 9
アドレスの範囲を指定して自動検索・登録する 10
自動検索の手順 10
登録の手順 11
IPアドレスを指定して登録する（手動登録） 13
一括して監視するプロジェクターをグループ登録する 14
登録後にプロジェクター名やIPアドレスが変更になったとき 16
手動登録したプロジェクターの場合 16
自動検索を使って登録したプロジェクターの場合 16
プロジェクターを登録解除する（削除） 17

監視画面の見方 18

Viewの切り替え方 18
「グループView」で監視する 18
「グループView」のアイコンの意味 18
「グループView」でのアイコン操作法 19
「詳細リストView」で監視する 20
「詳細リストView」のアイコンの意味 20
表示項目の選択 22
リストの並べ替え 22
目的のアイコンを探す（プロジェクター一覧表示） 23
システムトレイで監視する 23
異常・警告状態のプロジェクターを一覧表示する 24
プロパティで詳細を確認する 26
グループプロパティを表示する 26
プロジェクタープロパティを表示する 26
ログの表示と削除 27
ログの表示 27
ログの削除 27

制御機能の使い方 28

制御ボタンで制御する 28

Webブラウザを使って制御する（Web制御）..... 29

タイマ予約で制御する 30

新規タイマ予約の手順 31

メール通知機能の設定 32

異常/警告/状態通知のメールが送られてきたら 34

アプリケーションロック機能 36

アプリケーションロックの有効/無効を切り替える 36

ロックを有効にする場合 36

ロックを解除する場合 36

アプリケーションロック解除時のパスワードを設定する 36

困ったときには 37

プロジェクターを監視・制御できない 37

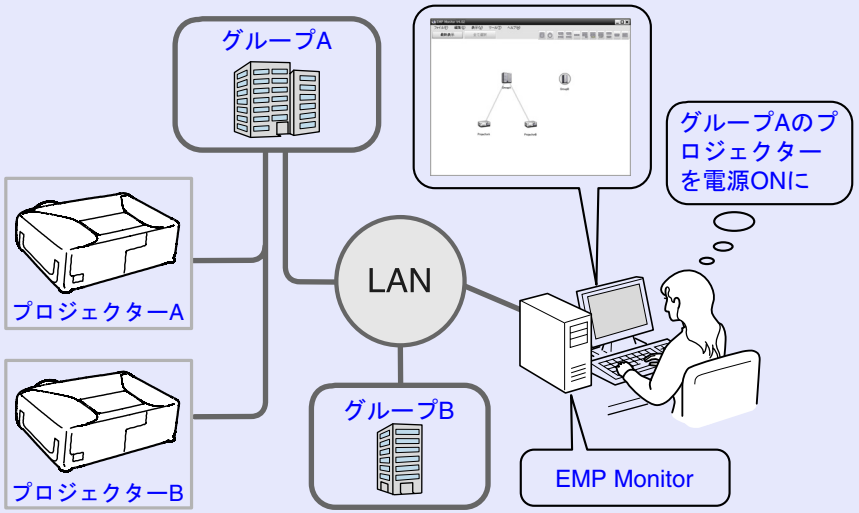
プロジェクターに異常が起きてもメールが送付されない 37

お問い合わせ先 39

EMP Monitorでできること

EMP Monitorを使うと、ネットワーク上の複数のエプソンプロジェクターの状態をコンピュータのモニタに表示して確認したり、コンピュータから制御したりできます。
EMP Monitorでできる監視・制御の概要は次のとおりです。

- **監視・制御するプロジェクターの登録**
  - ・ネットワーク上のプロジェクターを自動検索し、検出された中から登録するプロジェクターを選ぶことができます。
  - ・目的のプロジェクターのIPアドレスを入力し登録できます。
- **登録したプロジェクターのうち、一括して監視・制御するものをまとめてグループ登録できます。**
- **登録したプロジェクターの状態監視**
  - ・プロジェクターの電源の状態（オン/オフ）や異常・警告などの対処が必要な状態になっていないかなどをアイコンで視覚的に確認できます。
  - ・気になるグループまたは特定のプロジェクターを選択して、ランプの累積点灯時間や選択されている入力ソース、異常・警告の内容などの詳細情報を確認できます。
- **登録したプロジェクターの制御**
  - ・グループ単位で一括して、あるいは特定のプロジェクターだけを選んで電源の状態（オン/オフ）を切り替えたり、入力ソースを切り替えたりできます。
  - ・Web制御機能を使いプロジェクターの環境設定メニューの設定を変更できます。
  - ・「タイマ設定」で決まった日時に定例の制御を行えます。
- **メール通知機能の設定**
  登録したプロジェクターに異常などの対処が必要な状態が発生した場合に、それらの状態がメールで通知されるようにメールアドレスなどの設定ができます。



システム構成例

ポイント

プロジェクターがスタンバイ状態※でも監視・制御するには、プロジェクター側で次の設定を行います。お使いのプロジェクターにより、どちらの設定を行うのかが異なります。☛プロジェクターに添付の『取扱説明書』「環境設定メニュー」

- 「ネットワーク監視」を「オン」に設定する。
- 「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定する。

※プロジェクターの⏻（電源）インジケータがオレンジ色で点灯している状態

動作環境

動作可能なコンピュータ

Macintoshには対応していません。

OS	Windows 98 Second Edition SP1 Windows Me Windows NT4.0 SP6 Windows 2000 Professional SP4 以下の 32 ビット版 OS： Windows XP Home Edition SP1 以降 Windows XP Professional SP1 以降 Windows Vista Home Basic Windows Vista Home Premium Windows Vista Business Windows Vista Ultimate Windows Vista Enterprise • Internet Explorer Ver.5.0以降がインストールされている必要があります。
CPU	PentiumMMX 166MHz以上 （PentiumⅡ 233MHz以上を推奨）
メモリ容量	64MB以上（128MB以上を推奨）
ハードディスク空き容量	50MB以上
ディスプレイ	SVGA（800×600）以上の解像度、32ビットカラー以上の表示色

※ 管理するプロジェクターの台数により、使用するコンピュータの動作が遅くなる場合があります。その場合は、より高スペックなコンピュータを使用してください。

※ EMP Monitorは、PINGが通らない環境では使用できません。

EMP Monitorのインストール

Windows 2000/Windows NT4.0/Windows XP/Windows Vistaを使っているときは、EMP Monitorをインストールするためには管理者権限が必要です。

お使いのOS言語と異なる言語でEMP Monitorをインストールすると画面が正しく表示されないことがあります。

操作

1. **コンピュータの電源を入れて起動します。**
   インストールに問題が出ないように、終了させることが可能な常駐アプリケーションをすべて終了させることをおすすめします。

2. **コンピュータに『EPSON Projector Software for Monitoring』または、『EPSON Projector Software for Meeting & Presentation』CD-ROMをセットします。**
   自動でインストーラが起動します。

3. **以降は画面の指示に従ってインストールを実行してください。**

Windows Vista環境で使用する際の制限事項

EMP Monitor を Windows Vista 環境で使用する際は、以下の制限事項があります。

- EMP Monitorの「環境設定」画面で「スタートアップに登録」を使うには、管理者権限が必要です。
  ☛「システムトレイで監視する」p.23
- EMP Monitorをアンインストールした後も設定情報やログ情報は残ります。これらの情報が不要なときは「EMP Monitor V4.22」のフォルダごと削除してください。インストール先を変更していなければ、このフォルダは以下の場所にあります。
  「C:¥Users¥（ユーザー名）¥AppData¥Local¥VirtualStore¥Program Files¥EPSON Projector¥EMP Monitor V4.22」

操作を始める前に

EMP Monitor を起動する前に、次の点をご確認ください。

- 使用するコンピュータにEMP Monitorをインストールしておきます。
- コンピュータとプロジェクターをネットワーク接続できる状態にしておきます。
- Windows 2000/Windows NT4.0/Windows XP/Windows Vistaを使っているときは、管理権限を持つユーザー（Administrator）だけが起動できます。

EMP-6000/82/821/81/61をお使いの場合

- EMP Monitorを使用するには、市販のシリアル⇔IP変換アダプタと接続ケーブルが必要です。
  ☛プロジェクターに添付の『取扱説明書』「待機モード」
- 事前にシリアル⇔IP変換アダプタの設定をしてからプロジェクターと接続します。

監視するプロジェクターの登録と削除

EMP Monitorをインストール後、初めて起動したときや、プロジェクターを追加登録したいときに操作します。一度登録すれば、以降はEMP Monitorを起動すると、登録されているプロジェクターの状態が自動的に表示されます。

EMP Monitorを起動する

操作

1. [スタート]→[プログラム](または[すべてのプログラム])→[EPSON Projector]→[EMP Monitor V4.22]の順にクリックして、EMP Monitorを起動します。

2. メイン画面が表示されます。

監視するプロジェクターを自動検索し登録するには、次のようにプロジェクターがネットワーク上のどこに接続されているかにより、操作が異なります。

- EMP Monitorがインストールされているコンピュータが所属しているセグメント内にあるプロジェクターを登録する場合。☛「自動検索を使った登録(同一のセグメント内にあるプロジェクターの検索・登録)」p.8
- ネットワークの複数のセグメント上にあるプロジェクターを登録する場合。☛「アドレスの範囲を指定して自動検索・登録する」p.10

自動検索を使った登録(同一のセグメント内にあるプロジェクターの検索・登録)

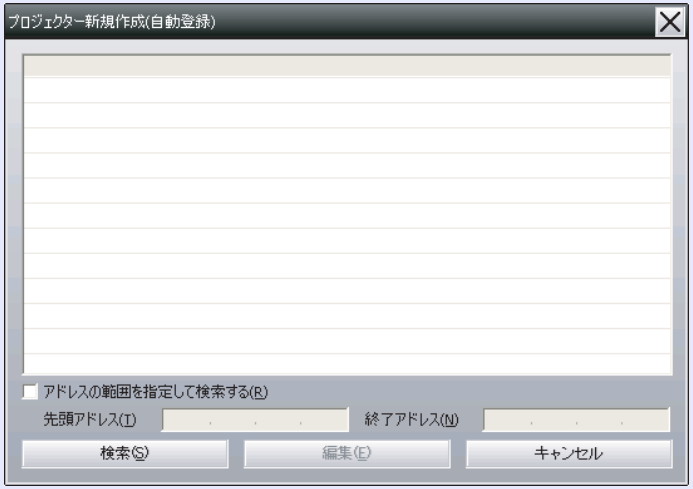
操作

■ 自動検索の手順

1 「グループView」上で右クリックし、「新規作成」→「プロジェクター(自動検索)」を選択します。

「プロジェクター新規作成(自動登録)」画面が表示されます。

- 「詳細リストView」を表示している場合は、「編集」メニューから「新規作成」→「プロジェクター(自動検索)」を選択します。



2 [検索]をクリックします。

自動検索が行われ、検出されたプロジェクター名が表示されます。

- プロジェクターがリストに表示されないときは「IP アドレスを指定して登録する(手動登録)」を行ってください。☛p.13

ポイント

- 「編集」メニューから「新規作成」→「プロジェクター(自動検索)」を選択して操作することもできます。
- シリアル⇔IP変換アダプタを使用しているプロジェクターは検出できません。

■ 登録の手順

3 登録するプロジェクターを選択して[編集]をクリックします。

以下の画面が表示されます。
次表をご覧になり、必要な設定を行います。

表示名	「グループView」や「詳細リストView」に表示するプロジェクターの名称を入力します。 最大で32バイトまで入力できます。先頭でスペースを使用することはできません。
表示アイコン	「グループView」や「詳細リストView」に表示するアイコンを選択します。
親グループ	グループ登録するときに選択します。 グループが作成されていないときは選択できません。☛「一括して監視するプロジェクターをグループ登録する」p.14
プロジェクター名	プロジェクター側で登録している名称が表示されます。
IPアドレス	登録するプロジェクターのIPアドレスが表示されます。
シリアル⇔IP変換アダプタを使用する	自動検索して登録するときは選択できません。
ポート番号	自動検索して登録するときは選択できません。
Monitorパスワード	プロジェクターにMonitorパスワードが設定されているときは、設定されているMonitorパスワードを必ず入力します。ここで正しくパスワードが入力されていないと登録しても監視・制御できません。
説明	プロジェクターについての覚え書等を記載できます。ここで入力した内容はプロジェクタープロパティに表示されます。 最大で60バイトまで入力できます。
監視を行う	監視を開始するときはチェックマークをつけます。

4 入力が終了したら、[登録]をクリックし登録を実行します。メッセージが表示されるので[OK]をクリックします。
続けて別のプロジェクターを登録するときは、手順3～4の操作を繰り返し行います。

ポイント
自動検索を使って登録したプロジェクターは、EMP Monitorを起動するたびにプロジェクター名に従って再検索されます。

5 登録作業を終了するときは、画面右上の ☒ 、または[キャンセル]をクリックします。
「グループView」または「詳細リストView」に登録したプロジェクターのアイコンが表示されます。
「グループView」、「詳細リストView」の使い方は、「監視画面の見方」をご覧ください。☛p.18

アドレスの範囲を指定して自動検索・登録する

ポイント
シリアル⇔IP変換アダプタを使用しているプロジェクターは検出できません。

操作

■ 自動検索の手順

1 「グループView」上で右クリックし、「新規作成」→「プロジェクター(自動検索)」を選択します。
「プロジェクター新規作成(自動登録)」画面が表示されます。
- 「詳細リストView」を表示している場合は、「編集」メニューから「新規作成」→「プロジェクター(自動検索)」を選択します。

2 「アドレスの範囲を指定して検索する」チェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、範囲の先頭アドレスと終了アドレスを入力します。

3 [検索]をクリックします。
自動検索が行われ、検出されたプロジェクター名が表示されます。

■ 登録の手順

4 登録するプロジェクターを選択して[編集]をクリックします。
以下の画面が表示されます。
次表をご覧になり、必要な設定を行います。

表示名	「グループView」や「詳細リストView」に表示するプロジェクターの名称を入力します。 最大で32バイトまで入力できます。先頭でスペースを使用することはできません。
表示アイコン	「グループView」や「詳細リストView」に表示するアイコンを選択します。
親グループ	グループ登録するときに選択します。 グループが作成されていないときは選択できません。☛「一括して監視するプロジェクターをグループ登録する」p.14
プロジェクター名	プロジェクター側で登録している名称が表示されます。
IPアドレス	登録するプロジェクターのIPアドレスが表示されます。
シリアル⇔IP変換アダプタを使用する	自動検索して登録するときは選択できません。
ポート番号	自動検索して登録するときは選択できません。
Monitorパスワード	プロジェクターにMonitorパスワードが設定されているときは、設定されているMonitorパスワードを必ず入力します。ここで正しくパスワードが入力されていないと登録しても監視・制御できません。
説明	プロジェクターについての覚え書等を記載できます。ここで入力した内容はプロジェクタープロパティに表示されます。 最大で60バイトまで入力できます。
監視を行う	監視を開始するときはチェックマークをつけます。

5 **入力が終了したら、[登録]をクリックし登録を実行します。メッセージが表示されるので[OK]をクリックします。**

続けて別のプロジェクターを登録するときは、手順4～5の操作を繰り返し行います。

6 **登録作業を終了するときは、画面右上の ☒ 、または[キャンセル]をクリックします。**

「グループView」または「詳細リストView」に登録したプロジェクターのアイコンが表示されます。

「グループView」、「詳細リストView」の使い方は、「監視画面の見方」をご覧ください。☛p.18

IPアドレスを指定して登録する(手動登録)

操作

1 「グループView」上で右クリックし、「新規作成」→「プロジェクター(手動登録)」を選択します。

以下の画面が表示されます。

- 「詳細リストView」を表示している場合は、「編集」メニューから「新規作成」→「プロジェクター(手動登録)」を選択します。

ポイント

「編集」メニューから「新規作成」→「プロジェクター(手動登録)」を選択して操作することもできます。

2 登録するプロジェクターのIPアドレスを「IPアドレス」に入力し、[検索]をクリックします。
メッセージが表示されるので[OK]をクリックします。

- シリアル⇔ IP 変換アダプタとケーブルを使用して接続するときは、「シリアル⇔IP変換アダプタを使用する」にチェックマークをつけ、「ポート番号」にポート番号を入力してから[検索]をクリックします。

3 検索終了後、下表を参照し登録するプロジェクターについての情報を入力します。

表示名	「グループView」や「詳細リストView」に表示するプロジェクターの名称を入力します。最大で32バイトまで入力できます。先頭でスペースを使用することはできません。
表示アイコン	「グループView」や「詳細リストView」に表示するアイコンを選択します。
親グループ	グループ登録するときに選択します。グループが作成されていないときは選択できません。 ☛「一括して監視するプロジェクターをグループ登録する」p.14
プロジェクター名	プロジェクター側で登録している名称が表示されます。
IPアドレス	手順2で入力したIPアドレスが表示されます。

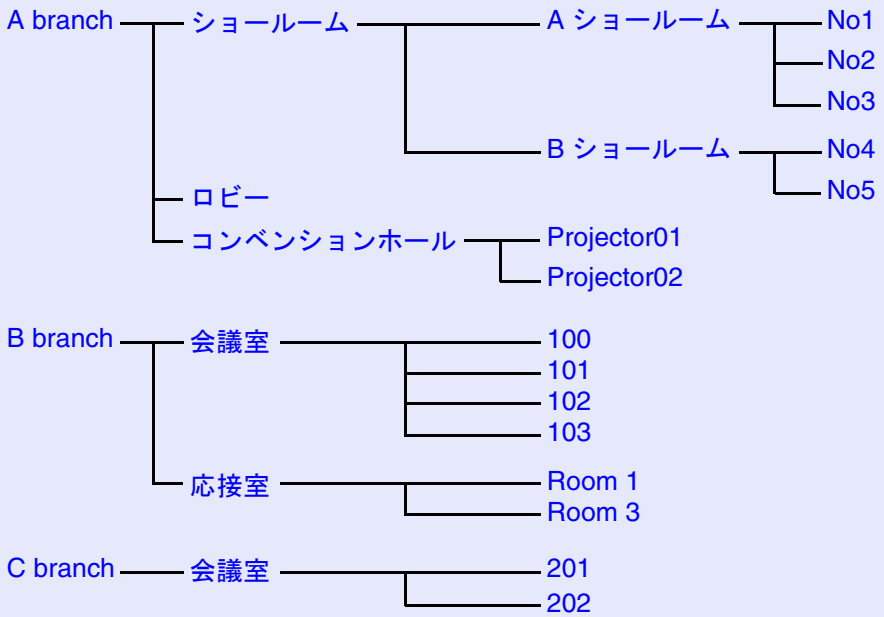
シリアル⇔IP変換アダプタを使用する	シリアル⇔IP変換アダプタを介して接続しているときはチェックマークをつけます。
ポート番号	シリアル⇔IP変換アダプタを介して接続しているときは接続時のポート番号を入力します。
Monitorパスワード	プロジェクターにMonitorパスワードが設定されているときは、設定されているMonitorパスワードを必ず入力します。ここで正しくパスワードが入力されていないと登録しても監視・制御できません。シリアル⇔IP変換アダプタを介して接続しているプロジェクターはMonitorパスワードによるセキュリティ機能は行えません。
説明	プロジェクターについての覚え書等を記載できます。ここで入力した内容はプロジェクタープロパティに表示されます。 最大で60バイトまで入力できます。
監視を行う	監視を開始するときはチェックマークをつけます。

4 入力が終了したら、[登録]をクリックし登録を実行します。メッセージが表示されるので[OK]をクリックします。

「グループView」または「詳細リストView」に登録したプロジェクターのアイコンが表示されます。

一括して監視するプロジェクターをグループ登録する

登録したプロジェクターは、一括して監視・制御する集団ごとにグループ登録できます。
さらに、登録したグループの「親グループ」を設定すると、「親グループ」単位での監視・制御もできます。
親グループに対して、さらに親グループを設定できるので、次のように階層のあるグループを作ることができます。



まず登録先のグループを作成し、その後で作成したグループにプロジェクターを登録します。

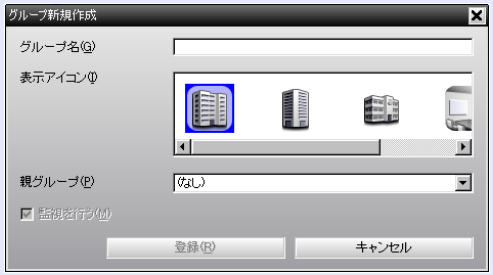
操作

1 「グループView」上で右クリックし、「新規作成」→「グループ」を選択します。

次の画面が表示されます。

下表をご覧になり、必要な設定を行います。

- 「詳細リストView」を表示している場合は、「編集」メニューから「新規作成」→「グループ」を選択します。



グループ名	「グループView」や「詳細リストView」に表示するグループの名称を入力します。 最大で32バイトまで入力できます。先頭でスペースを使用することはできません。
表示アイコン	「グループView」や「詳細リストView」に表示するアイコンを選択します。
親グループ	親グループを選択します。親となるグループが作成されていないときは選択できません。
監視を行う	グループ登録した全プロジェクターを監視するときはチェックマークをつけます。チェックマークをつけないと、個々のプロジェクターの登録時の設定に従います。 グループの新規作成時には設定できません。

ポイント

「編集」メニューから「新規作成」→「グループ」を選択して操作することもできます。

2 設定が終了したら[登録]をクリックし、登録を実行します。

メッセージが表示されるので[OK]をクリックします。

「グループView」または「詳細リストView」に登録したプロジェクターのアイコンが表示されます。

3 「グループView」または「詳細リストView」上で、作成したグループに登録するプロジェクターアイコンを右クリックし、「編集」を選択します。

ポイント

「編集」メニューから「編集」を選択して操作することもできます。

4 表示された「プロジェクター編集」画面の「親グループ」で登録先のグループ名を選択し、[変更]をクリックします。

「グループView」または「詳細リストView」にグループ登録の状態がアイコンで表示されます。

ポイント

登録した内容は「表示」メニューの「プロジェクター一覧表示」でも確認できます。

登録後にプロジェクター名やIPアドレスが変更になったとき

■ 手動登録したプロジェクターの場合

操作

1. 「グループView」または「詳細リストView」上で目的のプロジェクターアイコンを右クリックし、「監視無効」を選択します。再びプロジェクターアイコン上で右クリックし、「編集」を選択します。

ポイント

「編集」メニューから操作することもできます。

2. プロジェクター名だけが変更になったときは、表示された「プロジェクター編集」画面で、そのまま[検索]をクリックします。
IPアドレスが変更になった場合は、「IPアドレス」に新しいIPアドレスを入力して[検索]をクリックします。
メッセージが表示されるので[OK]をクリックします。

3. 「プロジェクター編集」画面に戻るので[変更]をクリックします。

■ 自動検索を使って登録したプロジェクターの場合

操作

1. 「グループView」または「詳細リストView」上で、変更になったプロジェクターを削除します。☛p.17

2. 自動検索を行い登録し直します。☛p.8

プロジェクターを登録解除する（削除）

EMP Monitorで監視・制御する必要のなくなったプロジェクターは登録を解除できます。

操作

「グループView」または「詳細リストView」上で登録解除するプロジェクターアイコン、またはグループアイコンを右クリックし、「削除」を選択します。
メッセージが表示されるので[OK]をクリックします。

「グループView」または「詳細リストView」上で複数のプロジェクターを選択して削除を行うことができます。
複数のプロジェクターを選択する方法は次のとおりです。

- 「グループView」上でグループアイコンを選択すると、その下に登録されているプロジェクターを一括して削除できます。
- キーボードの[Ctrl]を押したまま目的のアイコンを順次クリックします。
- 目的のアイコンが含まれるようにドラッグ＆ドロップで範囲指定します。

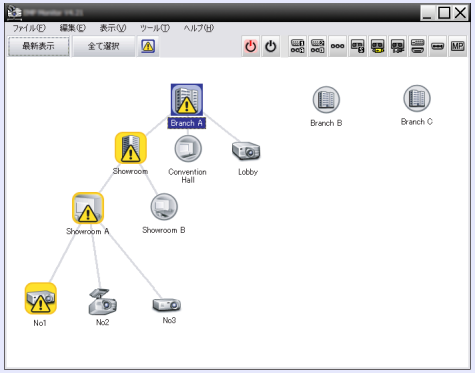
ポイント

「編集」メニューから「削除」を選択して操作することもできます。

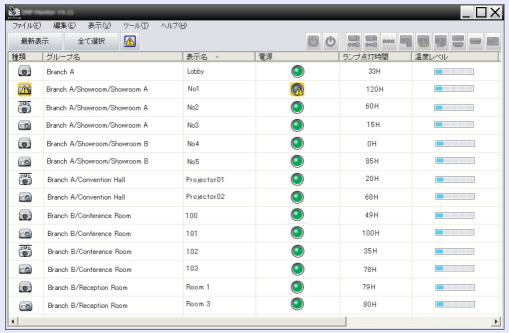
監視画面の見方

次のどちらかの表示形式で監視できます。

- 「グループView」
  グループ登録の状態を階層図で確認できます。
- 「詳細リストView」
  各プロジェクターの状態を一覧表示で詳細に確認できます。一覧に表示する項目は必要に応じて任意に選択できます。また、任意の列をキーにしてリストを並べ替えることもできます。



「グループView」



「詳細リストView」

■ Viewの切り替え方

「グループView」と「詳細リストView」は次のように切り替えます。

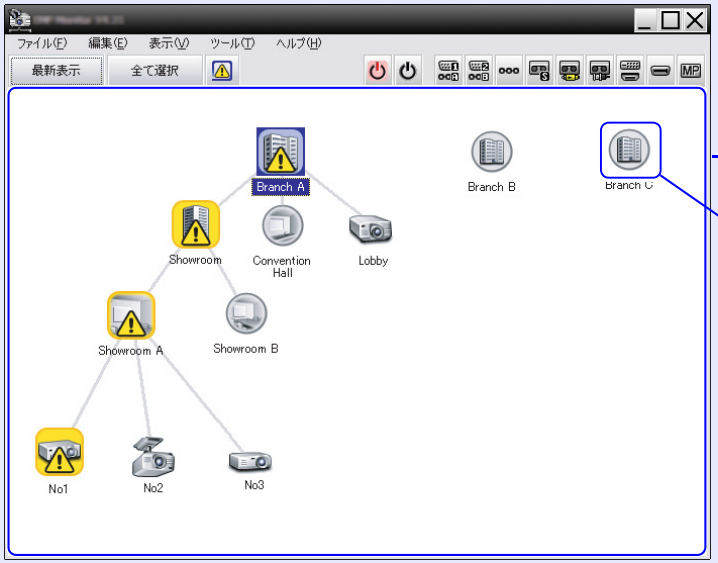
操作

「表示」メニュー をクリックし、「グループView」または「詳細リストView」を選択します。

「グループView」で監視する

■「グループView」のアイコンの意味

「グループView」ではアイコンのパターンでプロジェクターの状態をお知らせします。



「グループView」

グループアイコンが丸くなっているときは、その下の階層が格納状態であることを示しています。
☛ p.19

アイコンのパターンとその意味は、下表のとおりです。

グループ	
	警告、異常なし グループ内のすべてのプロジェクターが正常です。
	警告、異常あり グループ内に警告、異常状態のプロジェクターが見つかりました。
	通知あり 早めの対処を必要とするプロジェクターがグループ内に見つかりました。
	監視無効 監視対象になっていません。アイコンを右クリックして「監視有効」を選択すると監視対象に含まれます。
	情報更新中
プロジェクター	
	警告、異常なし※1
	警告、異常あり
	通知あり
	監視無効
	情報更新中
	ネットワークエラー（Monitorパスワード認証エラー） プロジェクター登録時にMonitorパスワードを入力しなかったか、間違ったMonitorパスワードを入力しました。☛p.9、12、14
	ネットワークエラー（TCP接続エラー）※2
	ネットワークエラー（ESC/VP.net通信エラー）※3

※1 「ツール」メニューの「環境設定」で「グループ View への温度レベル表示」を「On」に設定していると、プロジェクターアイコンに重ねてプロジェクターの内部温度を示すアイコンを表示できます。初期設定では「Off」になっています。内部温度レベルを表示しているとプロジェクターの内部温度の上昇傾向がつかめるため内部高温警告や高温異常の状態に至る前に状態を改善させることができます。☛p.25

※2 次の事項を確認してください。
- プロジェクターの電源が入っているか
- LANケーブルが接続されているか
- プロジェクターの環境設定メニューで「ネットワーク監視」が「オン」、あるいは「待機モード」が「ネットワーク有効」になっているか

※3 プロジェクターがネットワークに正しく接続されているか確認してください。

ポイント

異常を検知したプロジェクターの情報は、EMP Monitorを終了するまで保持しています。対象となるプロジェクターの状態を改善してもEMP Monitorの表示は自動更新されません。メイン画面上の[最新表示]をクリックすると最新の状態に更新されます。

■「グループView」でのアイコン操作法

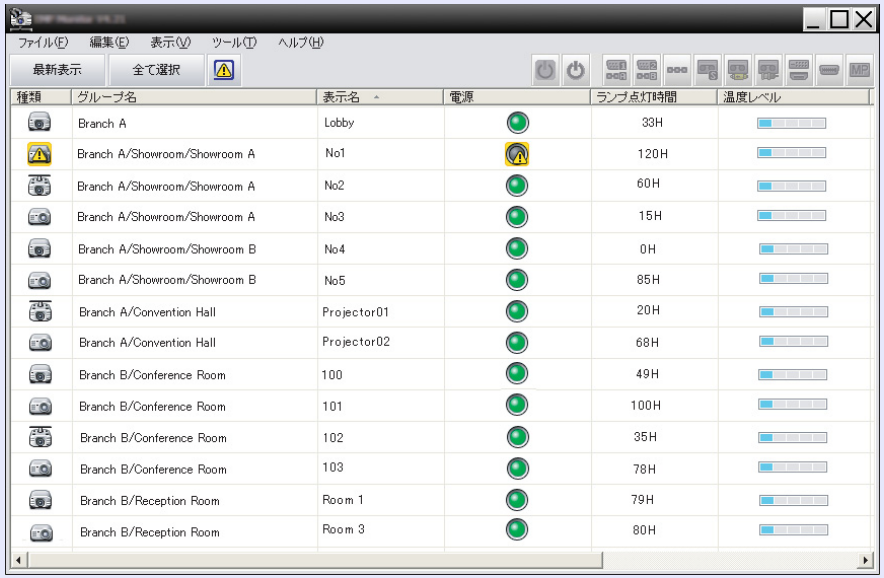
「グループView」では、アイコンの表示を次のように操作できます。

- **アイコンの展開/格納表示**
  グループアイコンをダブルクリックするたびに、そのグループに登録されているプロジェクターアイコンが展開/格納されます。
- **アイコンの移動**
  「グループView」上でアイコンの位置を変えるときは、移動するアイコンをドラッグ&ドロップします。

「詳細リストView」で監視する

■「詳細リストView」のアイコンの意味

「詳細リストView」では、どのグループに属するかに関わらず登録されているすべてのプロジェクターの状態が一覧表示されます。



アイコンのパターンとその意味は、下表のとおりです。

種類:プロジェクターの状態を示しています。

	警告、異常なし※1
	警告、異常あり プロジェクターに異常が生じています。
	通知あり プロジェクターが、早めの対処を必要とする状態になっています。
	監視無効 監視対象になっていません。アイコンを右クリックして「監視有効」を選択すると監視対象に含まれます。
	情報更新中
	ネットワークエラー(Monitorパスワード認証エラー) プロジェクター登録時にMonitorパスワードを入力しなかったか、間違ったMonitorパスワードを入力しました。 ☛p.9、12、14
	ネットワークエラー(TCP接続エラー)※2
	ネットワークエラー(ESC/VP.net通信エラー)※3

グループ名:グループ登録しているときは、所属しているグループ名が表示されます。

表示名:表示名が表示されています。

電源:プロジェクターの電源の状態を示しています。

	電源ON異常なし		電源ON異常あり
	電源OFF異常なし		電源OFF異常あり

ランプ点灯時間:プロジェクターのランプ点灯時間を表示します。

温度レベル:プロジェクターの内部温度を5段階に区分しアイコンで示しています。

	内部温度正常		高温警告
	内部温度正常		内部温度異常
	高温警告		

エラー情報：通知、警告、異常の状態を以下のアイコンで示します。			
	エアーフィルタ清掃通知		ランプ異常
	ランプ交換勧告※4		ランプ点灯失敗
	高温警告		内部高温異常
	エアーフィルタ交換勧告		内部異常
	エアーフィルタ未装着		ファン異常
	エアーフィルタ風量低下		センサ異常
	エアーフィルタセンサ故障		電源系異常（バラスト）
	エアーフィルタ風量低下異常		オートアイリス異常
	エアーフィルタ風量センサ異常		その他のエラー
	ランプカバー開放状態		

※1 「ツール」メニューの「環境設定」で「グループ View への温度レベル表示」を「On」に設定していると、プロジェクターアイコンに重ねてプロジェクターの内部温度を示すアイコンを表示できます。初期設定では「Off」になっています。

※2 次の事項を確認してください。
- プロジェクターの電源が入っているか
- LANケーブルが接続されているか
- プロジェクターの環境設定メニューで「ネットワーク監視」が「オン」、あるいは「待機モード」が「ネットワーク有効」になっているか

※3 プロジェクターがネットワークに正しく接続されているか確認してください。

※4 「ツール」メニューの「環境設定」で任意に時間を設定してランプ交換勧告を表示させることができます。

ポイント

- 異常を検知したプロジェクターの情報は、EMP Monitorを終了するまで保持しています。対象となるプロジェクターの状態を改善してもEMP Monitorの表示は自動更新されません。メイン画面上の［最新表示］をクリックすると最新の状態に更新されます。
- お使いのプロジェクターにより、検出できるエラー情報は異なります。

■ 表示項目の選択

「詳細リストView」に表示する項目は必要なものだけを任意に選択できます。

操作

1. 「表示」メニュー →「オプション」を選択します。
「オプション」画面が表示されます。

2. 表示させたい項目をクリックし、チェックマークをつけます。

3. [OK]をクリックします。

4. 「詳細リスト View」で項目の内容がすべて表示できていないときは、項目名の右の境界線を任意の幅になるようにドラッグします。

■ リストの並べ替え

プロジェクター名順やIPアドレス順など、任意の列をキーにして詳細リストを並べ替えることができます。

操作

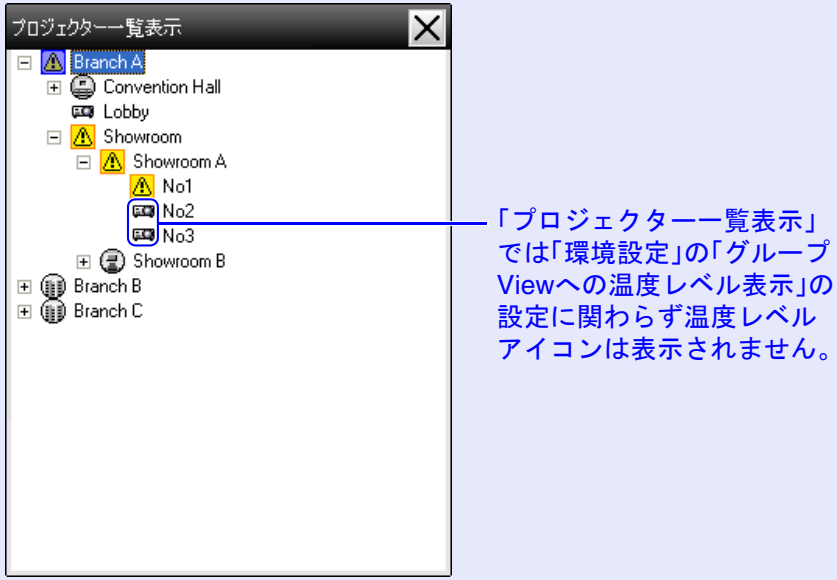
キーにする列の項目名をクリックします。

目的のアイコンを探す（プロジェクター一覧表示）

グループやプロジェクターを多数登録していて目的のアイコンが画面上に表示されていないときは、「プロジェクター一覧表示」から探すと便利です。

操作

「表示」メニュー →「プロジェクター一覧表示」を選択します。



「プロジェクター一覧表示」では、このようにグループ登録の内容を階層図で確認できます。目的のアイコンをクリックすると、選択したアイコンが画面内に表示されるように「グループView」または「詳細リストView」がスクロールします。

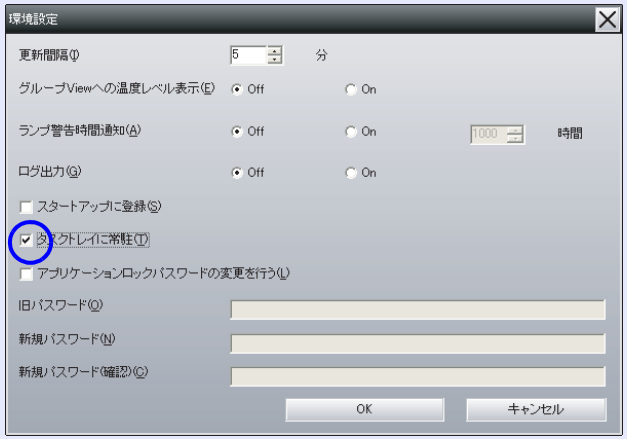
システムトレイで監視する

常に「グループView」や「詳細リストView」を表示しておかなくても、プロジェクターの状態をシステムトレイにアイコン表示させ、そのアイコンのパターンで確認することができます。
次の操作で環境設定を行うと、システムトレイにアイコンが表示され、そのアイコンのパターンで状態を監視できます。

操作

1. 「ツール」メニュー →「環境設定」を選択します。
「環境設定」画面が表示されます。

2 「タスクトレイに常駐」をクリックし、チェックマークをつけます。



3 [OK]をクリックします。

ポイント

- システムトレイのアイコンを右クリックし、「メイン画面を開く」と「終了」を行えます。
- 「環境設定」画面の「スタートアップに登録」にチェックマークをつけると、コンピュータ起動時にEMP Monitorが自動起動されます。EMP MonitorをWindows Vista環境でお使いのときは、この機能を利用するには管理者権限が必要です。

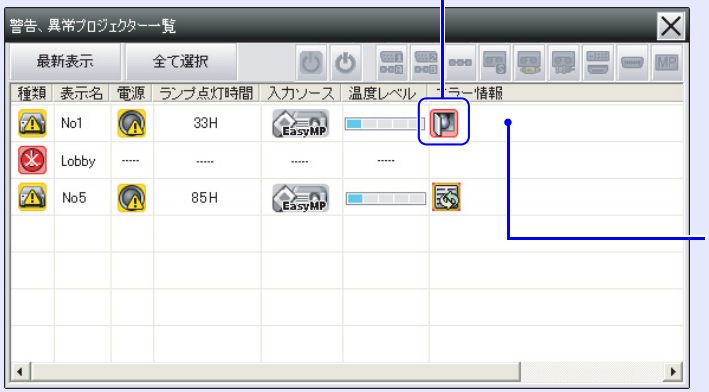
異常・警告状態のプロジェクターを一覧表示する

異常・警告状態のプロジェクターだけを一覧表示することができます。

操作

「表示」メニュー →「警告、異常プロジェクター一覧」を選択します。

次の「警告、異常プロジェクター一覧」画面が表示されます。



アイコン上にマウスポインタを合わせると、エラーの内容や対処方法が表示されます。

行上でダブルクリックをすると、そのプロジェクターのプロパティが表示されます。☛ p.26

一覧でのアイコンのパターンとその意味は、下表のとおりです。

種類：グループやプロジェクターの状態を示しています。☛p.18

表示名：表示名が表示されています。

電源：プロジェクターの電源の状態を示しています。

	電源ON異常なし		電源ON異常あり
	電源OFF異常なし		電源OFF異常あり

ランプ点灯時間：プロジェクターのランプ点灯時間を表示します。

入力ソース：プロジェクターが選択している入力ソースを表示します。

	コンピュータまたはコンピュータ1		Video（BNC）
	コンピュータ2		DVIまたはHDMI（デジタル）
	BNC		D-Video
	S-Video		EasyMP
	Video（RCA）		

温度レベル：プロジェクターの内部温度を5段階に区分しアイコンで示しています。

	内部温度正常		高温警告
	内部温度正常		内部温度異常
	高温警告		

エラー情報：警告、異常の状態を以下のアイコンで示します。

	ランプ交換勧告※		ランプ異常
	高温警告		ランプ点灯失敗
	エアーフィルタ交換勧告		内部高温異常
	エアーフィルタ未装着		内部異常
	エアーフィルタ風量低下		ファン異常
	エアーフィルタセンサ故障		センサ異常
	エアーフィルタ風量低下異常		電源系異常（バラスト）
	エアーフィルタ風量センサ異常		オートアイリス異常
	ランプカバー開放状態		その他のエラー

※「ツール」メニューの「環境設定」で任意に時間を設定してランプ交換勧告を表示させることができます。

ポイント

お使いのプロジェクターにより、検出できるエラー情報は異なります。

プロパティで詳細を確認する

グループやプロジェクターの詳細な情報はプロパティで確認できます。

■ グループプロパティを表示する

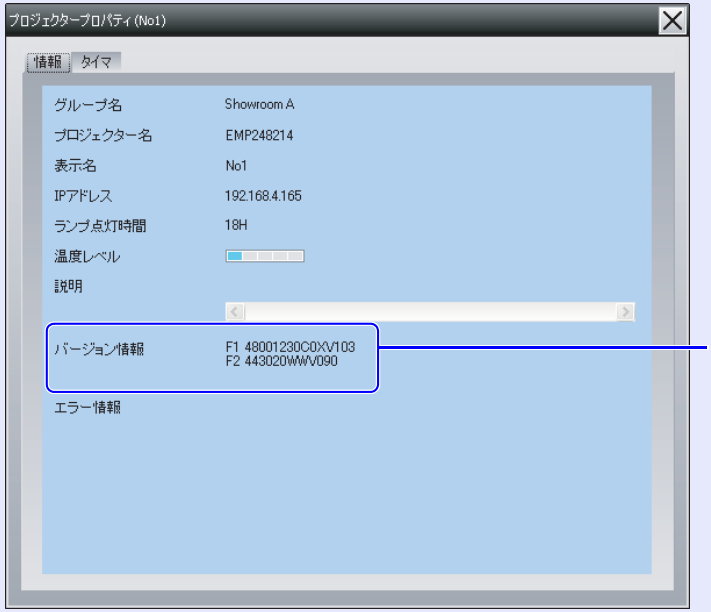
次のどちらかの方法でプロパティ表示できます。

- 「グループView」上の全グループのプロパティを表示する
  「グループView」上で右クリックし、「プロパティ」を選択します。
- 特定のグループのプロパティを表示する
  「グループView」上で目的のグループアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。

行上でダブルクリックをすると、そのグループ、またはプロジェクターのプロパティが表示されます。

■ プロジェクタープロパティを表示する

「グループView」または「詳細リストView」上で目的のプロジェクターアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。



プロジェクターファームウェアのバージョンを示しています。

ログの表示と削除

EMP Monitorで制御した内容やプロジェクターのエラーの内容などの通信ログをWebブラウザで確認できます。確認済みのログは削除できます。

ポイント

「ツール」メニューの「環境設定」で「ログ出力」を「On」に設定すると通信ログが記録されます。初期設定は「Off」になっています。

■ ログの表示

操作

「表示」メニューで「ログ」→「表示」を選択します。
Webブラウザが起動し、それまでの通信ログが表示されます。

■ ログの削除

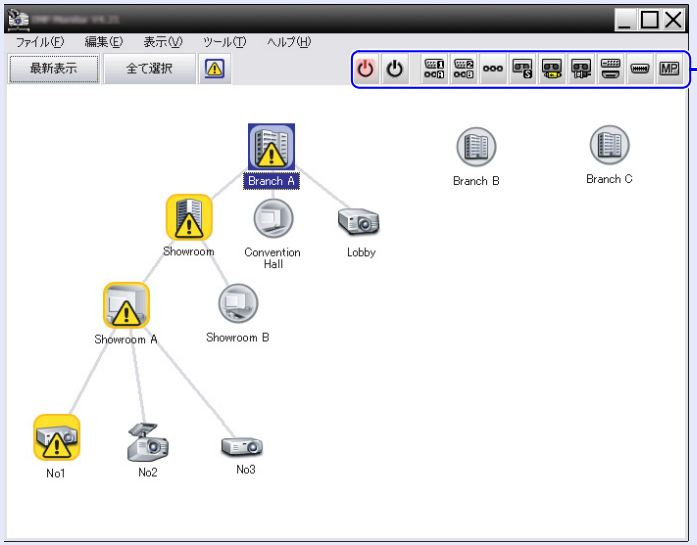
操作

「表示」メニューで「ログ」→「削除」を選択します。
確認のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックします。
ログがすべて削除され、以降の制御やプロジェクターエラーの内容が新たに記録されていきます。

制御ボタンで制御する

「グループView」または「詳細リストView」上で制御するプロジェクターアイコンをクリックし制御ボタンをクリックすると、選択したプロジェクターを制御できます。
「グループView」または「詳細リストView」上で複数のプロジェクターを選択してから制御ボタンをクリックすると、選択したプロジェクターすべてを一括して制御することもできます。複数のプロジェクターを選択する方法は次のとおりです。

- 「グループView」上でグループアイコンを選択すると、そのグループに登録されているプロジェクターで監視対象となっているものすべてを一括制御できます。
- キーボードの[Ctrl]を押したまま目的のアイコンを順次クリックします。
- 目的のアイコンが含まれるようにドラッグ＆ドロップで範囲指定します。



制御ボタンの意味は、次表のとおりです。

電源オン	プロジェクターの電源をオンにします。
電源オフ	プロジェクターの電源をオフにします。
ソース切替 コンピュータ1	入力ソースを[コンピュータ1]端子または[コンピュータ]端子に切り替えます。
ソース切替 コンピュータ2	入力ソースを[コンピュータ2]端子に切り替えます。
ソース切替 BNC	入力ソースを[BNC]端子に切り替えます。
ソース切替 S-Video	入力ソースを[S-ビデオ]端子に切り替えます。
ソース切替 Video(RCA)	入力ソースを[ビデオ]、あるいは[ビデオ2]端子に切り替えます。
ソース切替 Video(BNC)	入力ソースを[ビデオ1]端子に切り替えます。
ソース切替 DVI、HDMI	入力ソースを[DVI]端子または[HDMI]端子に切り替えます。
ソース切替 D-Video	入力ソースを[D4]端子に切り替えます。
ソース切替 EasyMP	EasyMP.net、あるいはEasyMPに切り替えます。

ポイント

- 接続しているプロジェクターによっては、装備されていない端子や機能があります。装備されていない端子や機能のボタンをクリックしても何も機能しません。
- 次の表示を行っているときにも、制御対象を選択し制御ボタンで制御することができます。☛各表示の詳細 p.24、26
  - ・グループプロパティ
  - ・プロジェクタープロパティ
  - ・警告、異常プロジェクター一覧（警告状態のプロジェクターに限り制御できます）

Webブラウザを使って制御する（Web制御）

コンピュータのWebブラウザを利用して、プロジェクターの環境設定メニューを変更することができます。

操作

1. 「グループView」または「詳細リストView」上で制御するプロジェクターアイコンを右クリックして、「Web制御」を選択します。

2. Webブラウザが起動し、Web制御の画面が表示されます。

Web制御ではプロジェクターの環境設定メニューと同じ内容の設定が行えます。環境設定メニューについてはプロジェクターに添付の『取扱説明書』をご覧ください。

ポイント

次の表示を行っているときにも、プロジェクターを選択し右クリックして、「Web制御」を選択することができます。

- グループプロパティ ☛p.26
- 警告、異常プロジェクター一覧（警告状態のプロジェクターに限り制御できます）☛p.24

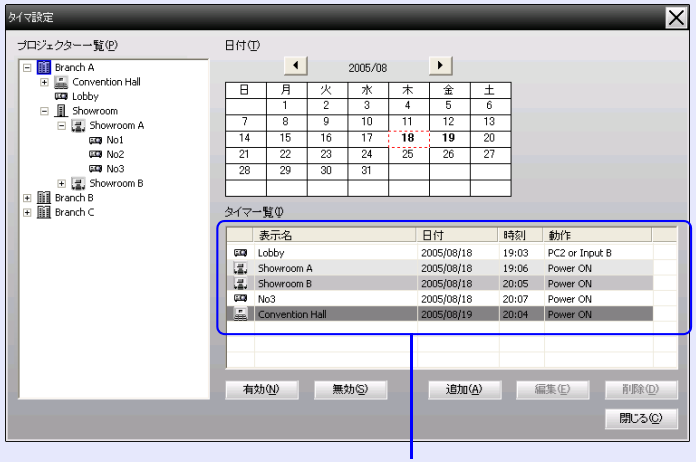
タイマ予約で制御する

毎日、あるいは毎週決まった時間に電源のオン/オフを行うなど、定例の制御はタイマ機能を使うと便利です。
タイマ予約は1台のプロジェクターだけに設定することもできますし、グループに対して設定し、グループ内のプロジェクターを一括制御することもできます。

操作

1 「ツール」メニューから「タイマ」→「タイマ設定」を選択します。

次の画面が表示され、タイマ予約の状況を確認できます。



一覧の行の色には次の意味があります。
- :今日のタイマ設定
- :今日のタイマ設定で、グループ内にタイマ設定の実行有効、無効のプロジェクターが混在する場合
- :今日のタイマ設定で、無効状態のタイマ設定
- :今日以外の日のタイマ設定

ここで確認、操作できる内容は下表のとおりです。

プロジェクター一覧	状況を確認したいグループまたはプロジェクターを選択します。 グループを選択した場合は、グループ内の全プロジェクターのタイマ予約状況が表示されます。
日付	今日が赤枠で表示されています。 タイマ予約が設定されている日は、太字で表示されます。 ◀、▶をクリックすると先月、翌月のカレンダーに切り替わります。
タイマー覧	タイマ予約の内容が一覧表示されます。
[有効][無効]	予約一覧で選択したタイマ予約を有効/無効に切り替えられます。
[追加]	新規のタイマ予約を登録します。
[編集]	予約一覧で選択しているタイマ予約を変更します。 グループを選択して状況を確認している場合は、編集は行えません。
[削除]	予約一覧で選択しているタイマ予約を削除します。

■ 新規タイマ予約の手順

2 [追加]をクリックすると、次の画面が表示され新規のタイマ予約が行えます。

「動作」では、メイン画面の制御ボタンと同様に電源と入力ソースの切り替え指定ができます。入力ソース切り替えを設定すると動作開始時刻にプロジェクターの電源が入っていなくても、自動的に電源がオンになります。したがって、電源をオンにするタイマ予約と入力切り替えをするタイマ予約の2つを登録する必要はありません。

3 タイマ予約の設定が終了したら、[OK]をクリックします。

設定したタイマ予約が登録され、表示された予約一覧で確認できます。

ポイント

登録しているタイマ予約すべてを有効にしたり、無効にすることができます。「ツール」メニューで「タイマ」→「実行有効」、または「実行無効」を選択します。

メール通知機能の設定

メール通知機能の設定をしておくと、ネットワークで接続しているプロジェクターが特定の状態や異常/警告状態になったとき、設定したメールアドレスに対してそれらの状態がメールで通知されます。これにより、プロジェクターの状態や異常を離れた場所にいても知ることができます。

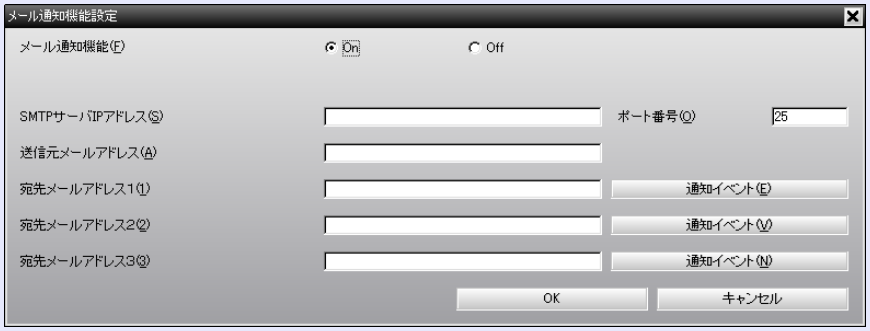
ポイント

- 宛先（送信先）は最大3つまで記憶でき、一括して送ることができます。
- プロジェクターに致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になった場合などは、メールを送信できないことがあります。
- プロジェクターの環境設定メニューで「待機モード」あるいは「ネットワーク監視」を「オン」、あるいは「ネットワーク有効」に設定しておくと、プロジェクターがスタンバイ状態（電源オフの状態）でも、監視ができます。☛プロジェクターに添付の『取扱説明書』
- プロジェクターによっては環境設定メニューでメール通知機能の設定が行えるものがあります。プロジェクターの環境設定メニューでメール通知を行うように設定しているときは、環境設定メニューでの設定とEMP Monitorでの設定の両方が働きます。
- お使いのプロジェクターにより、メール通知機能で検出できる状態は異なります。

操作

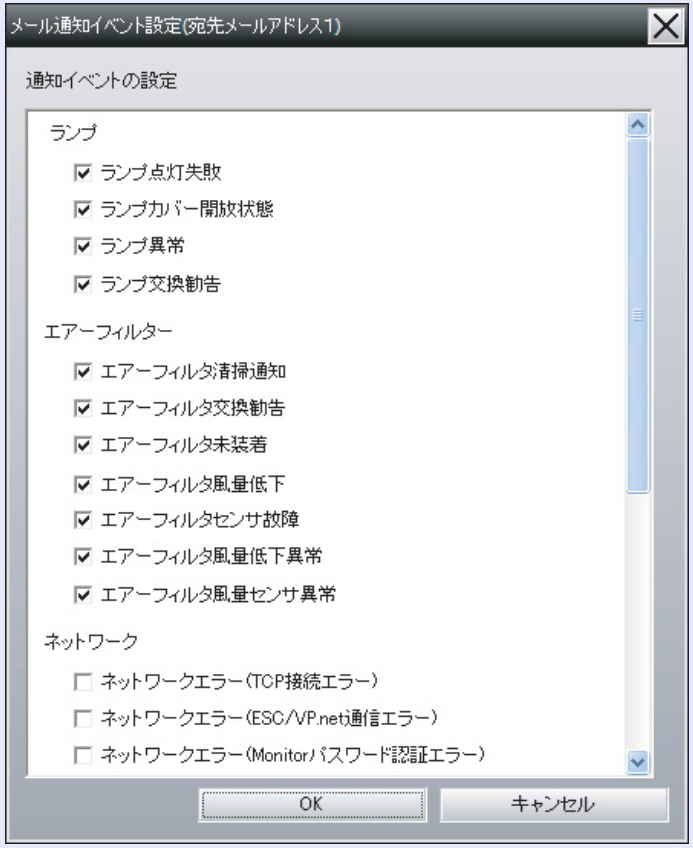
1 「ツール」メニューから「メール通知機能」を選択します。

2 「メール通知機能設定」画面が表示されます。
以下の設定をします。



メール通知機能	メール通知を行う場合に「On」に設定します。
SMTPサーバIPアドレス	プロジェクターが使うSMTPサーバのIPアドレスを入力します。最大255バイトまで入力できます。 SMTPサーバのポート番号を変更する場合は、ポート番号を入力します。初期値は25です。1～65535までの有効な数値を入力できます。
送信元メールアドレス	送信元のメールアドレスを入力します。最大255バイトまで入力できます。
宛先メールアドレス1	通知メールの送信先メールアドレスを 3件まで指定できます。最大255バイトまで入力できます。
宛先メールアドレス2	
宛先メールアドレス3	

3 [通知イベント]をクリックし、表示されたダイアログボックスで、メール通知する項目にチェックを付けます。



4 [OK]をクリックします。
「メール通知機能設定」画面に戻ります。
それぞれの送信先について、手順3～4の操作で通知イベントを設定します。

5 設定が終了したら[OK]をクリックします。

異常/警告/状態通知のメールが送られてきたら

プロジェクターに異常や対処すべき状態が発生すると、「宛先メールアドレス」で設定したメールアドレスに次のようなメールが送信されます。
異常・警告・状態が複数あるときは、1行に1つずつメッセージが記載されています。

項目	表示内容
メールタイトル	【「グループView」または「詳細リストView」に表示されている表示名】プロジェクター状態通知
本文	＜「グループView」または「詳細リストView」に表示されている表示名＞が以下の状態になりました。 ＜異常・警告・状態メッセージ（下表参照）＞

メッセージの示す内容は次表のとおりです。

メッセージ	対処方法
内部異常	「インジケータの見方」 ☛プロジェクターに添付の『取扱説明書』「インジケータの見方」
ファン異常	
センサ異常	
ランプカバー開放状態	
ランプ点灯失敗	
ランプ異常	
内部高温異常	
エアーフィルタ風量低下異常	
エアーフィルタ風量センサ異常	
高温警告	

メッセージ	対処方法
ランプ交換勧告	「インジケータの見方」 ☛プロジェクターに添付の『取扱説明書』「インジケータの見方」
エアーフィルタ交換勧告	
エアーフィルタ未装着	
エアーフィルタ風量低下	
エアーフィルタセンサ故障	
エアーフィルタ清掃通知	
ノーシグナル	プロジェクターに映像信号が入力されていません。接続状態や、接続している機器の電源が入っているかを確認してください。
その他のエラー	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または取扱説明書に記載の連絡先に修理を依頼してください。☛p.39
電源系異常（バラスト）	
オートアイリス異常	
ネットワークエラー（TCP接続エラー）	プロジェクターの電源が入っているか、LANケーブルが接続されているか、または、「ネットワーク監視」が「オン」あるいは、「待機モード」が「ネットワーク有効」になっているか確認してください。
ネットワークエラー（ESC/VP.net通信エラー）	プロジェクターがネットワークに正しく接続されているか確認してください。

メッセージ	対処方法
ネットワークエラー（Monitorパスワード認証エラー）	プロジェクターのMonitorパスワードを確認してください。

異常、警告が復帰した際は復帰を通知するメールが送付されます。

アプリケーションロック機能

第三者が勝手にEMP Monitorを操作したり、設定を変更したりできないようにアプリケーションロックをかけることができます。アプリケーションロックをかけても、EMP Monitorの起動・終了と状態監視は行えます。
さらに、パスワードを設定しておくとアプリケーションロック解除時にパスワードの入力が求められます。このため、簡単にアプリケーションロックを解除できなくなり、セキュリティがより強力になります。

アプリケーションロックの有効/無効を切り替える

■ ロックを有効にする場合

操作

「ツール」メニューから「アプリケーションロック」を選択します。
アプリケーションロックが有効になりEMP Monitorの終了/起動と、アプリケーションロック解除以外は操作できなくなります。

■ ロックを解除する場合

操作

1. 「ツール」メニューから「アプリケーションロック解除」を選択します。
2. パスワード入力の画面が表示されますので、設定したパスワードを入力し[OK]をクリックします。
パスワードを設定していない(初期設定のままの) 場合は、そのまま[OK]をクリックします。セキュリティ強化のために、パスワードの設定をお勧めします。
アプリケーションロックが解除され、通常どおり操作ができるようになります。

アプリケーションロック解除時のパスワードを設定する

アプリケーションロックが解除されている状態で、以下の設定を行います。

操作

1. 「ツール」メニューから「環境設定」を選択します。
「環境設定」画面が表示されます。
2. 「アプリケーションロックパスワードの変更を行う」にチェックマークをつけます。
3. 「新規パスワード」と「新規パスワード(確認)」の両方にパスワードを入力し[OK]をクリックします。
パスワードは、16バイト以内で設定します。半角英数字が入力できます。

プロジェクターを監視・制御できない

確認	対処法
ネットワークに正しく接続されていますか？	ネットワークケーブルを正しく接続し直します。☛プロジェクターに添付の『取扱説明書』「ネットワークケーブルの接続」
ネットワークに接続するための設定は正しいですか？	プロジェクターの環境設定メニューで「ネットワーク」の設定を確認してください。 ☛プロジェクターに添付の『取扱説明書』
コンピュータにEMP Monitorが正しくインストールされていますか？	アンインストールしてから、再度インストールしてください。
制御・監視したいすべてのプロジェクターが登録されていますか？	プロジェクターを登録してください。 ☛p.7
プロジェクター側で、環境設定メニューの「ネットワーク監視」、あるいは「待機モード」を「オン」、あるいは「ネットワーク有効」に設定していますか？	プロジェクターがスタンバイ状態のときもEMP Monitor で監視や制御をするには、プロジェクター本体の環境設定メニューの「ネットワーク監視」あるいは「待機モード」を「オン」、あるいは「ネットワーク有効」に設定しておきます。 ☛プロジェクターに添付の『取扱説明書』

プロジェクターに異常が起きてもメールが送付されない

確認	対処法
ネットワークに正しく接続されていますか？	ネットワークケーブルを正しく接続し直します。☛プロジェクターに添付の『取扱説明書』「ネットワークケーブルの接続」
ネットワークに接続するための設定は正しいですか？	プロジェクターの環境設定メニューで「ネットワーク」の設定を確認してください。 ☛プロジェクターに添付の『取扱説明書』
SMTPサーバIPアドレス、ポート番号、宛先メールアドレスは正しく設定されていますか？	設定内容を確認してください。
プロジェクター側で、環境設定メニューの「ネットワーク監視」、あるいは「待機モード」を「オン」、あるいは「ネットワーク有効」に設定していますか？	プロジェクターがスタンバイ状態のときもメール通知機能を使うためには、プロジェクター本体の環境設定メニューの「ネットワーク監視」あるいは「待機モード」を「オン」、あるいは「ネットワーク有効」に設定しておきます。 ☛プロジェクターに添付の『取扱説明書』
致命的な異常が発生しプロジェクターが瞬時に起動停止状態になっていませんか。	瞬時に起動停止するとメール送信できません。 本機を確認しても復帰しない場合は、お買い上げの販売店または取扱説明書に記載の連絡先に修理を依頼してください。 ☛p.39
プロジェクターに電源が供給されていますか？	プロジェクターが設置されている地域が停電になっていたり、プロジェクターの電源を取っているコンセントのブレーカーが切れていないか確認してください。

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
(4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
(7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

商標について

Windows、Windows NT、Windows Vistaは米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Macintoshは、Apple Inc.の登録商標です。
Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。
EasyMPおよびEasyMP.netはセイコーエプソン株式会社の商標です。
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

©SEIKO EPSON CORPORATION 2008. All rights reserved.

EPSON

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp
各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●プロジェクターインフォメーションセンター　製品の操作方法・お取り扱い等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。
050-3155-7010　【受付時間】月～金曜日9:00～20:00　土曜日10:00～17:00（祝日、弊社指定休日を除く）
◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-54-5800へお問い合わせください。

●エプソンサービスコールセンター
修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先
050-3155-8600　【受付時間】9:00～17:30　月～金曜日（祝日、弊社指定休日を除く）
◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。
◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
・松本修理センター:0263-86-7660　・東京修理センター:042-584-8070　・福岡修理センター:092-622-8922

●ドアtoドアサービス（修理品有償ピックアップサービス）に関するお問い合わせ先
ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。
ドアtoドアサービス受付電話　**050-3155-7150**　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。
＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.epson.jp/showroom/
エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。
インターネットでアクセス！　http://myepson.jp/　▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

● 消耗品のご購入
お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101）でお買い求めください。（2007年9月現在）

エプソン販売 株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

液晶プロジェクタ（B）　2007. 9